

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 株式会社グローバルダイニング 上場取引所 東
 コード番号 7625 URL <http://www.global-dining.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 耕造
 問合せ先責任者 (役職名)財務経理グループ (氏名)中尾 慎太郎 TEL 03-5469-3222
 グループリーダー
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	5,833	5.3	△108	—	△105	—	△122	—
23年12月期第2四半期	5,540	△19.7	△288	—	△297	—	△469	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 △100百万円(—%) 23年12月期第2四半期 △481百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△12.17	—
23年12月期第2四半期	△46.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	7,716	3,781	48.9
23年12月期	8,090	3,880	47.9

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 3,775百万円 23年12月期 3,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,767	△1.3	6	—	5	—	△21	—	△2.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年12月期 2 Q	10,052,600株	23年12月期	10,052,600株
24年12月期 2 Q	8,050株	23年12月期	7,990株
24年12月期 2 Q	10,044,575株	23年12月期 2 Q	10,044,638株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画、主な Q & A 等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
 - ・平成24年8月6日 (月) ・ ・ ・ ・ ・ 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	2
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
（4）追加情報	4
（5）継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）継続企業の前提に関する注記	10
（5）セグメント情報等	10
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から緩やかに回復しつつあるものの、欧州政府債務危機など海外景気に対する不安感により先行き不透明な状態で推移しました。

外食業界におきましても、個人消費は緩やかに増加しているものの、物価の動向が緩やかなデフレ状況にあり依然として厳しい状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、厳しい経営環境下においても持続的な収益成長を可能とする事業基盤の確立を目指し、当社グループの成長を支える優秀な人材の育成、既存コンセプトのブラッシュアップ、費用の適正化に重点を置き、既存店の業績向上に取り組んでまいりましたが、経営資源の効率的運用及び収支改善を図るため、収益改善の見込めない「ゼストキャンティーナ飯倉」及び「カフェ ラ・ボエム港北」を閉店いたしました。また、賃貸借契約終了のため「ゼストキャンティーナ恵比寿」が平成24年5月31日をもちまして閉店いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、58億33百万円（前年同期比5.3%増）となり、当第2四半期連結累計期間末の総店舗数は60店舗となりました。

損益につきましては、営業損失は1億8百万円（前年同期は営業損失2億88百万円）、経常損失は1億5百万円（前年同期は経常損失2億97百万円）、四半期純損失は1億22百万円（前年同期は四半期純損失4億69百万円）となりました。

報告セグメントについては、当社グループはレストラン経営を主とする飲食事業という単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

売上高をコンセプト（営業形態）別にみると、「ラ・ボエム」は16億92百万円（前年同期比0.4%減）、「ゼスト」は4億59百万円（同16.0%減）、「モンスーンカフェ」は13億83百万円（同9.0%増）、「権八」は12億56百万円（同14.3%増）、「ディナーレストラン」は4億12百万円（同14.2%増）、「フードコロシアム」は2億99百万円（同9.2%増）、「その他」は3億30百万円（同13.4%増）となりました。既存店売上高につきましては、前年同期比8.6%の増収となりました。

なお、前年同期比につきましては、参考として記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3億73百万円減少し、77億16百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して2億24百万円減少し、9億65百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が87百万円、受取手形及び売掛金が1億2百万円、原材料及び貯蔵品が22百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して1億48百万円減少し、67億51百万円となりました。主な変動要因は、建物及び構築物が1億19百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して3億42百万円減少し、19億3百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金が84百万円、未払費用が51百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億11百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して68百万円増加し、20億31百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が78百万円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して99百万円減少し、37億81百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が1億22百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が21百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して87百万円減少し、3億40百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失1億13百万円、減価償却費1億80百万円、仕入債務の減少85百万円などにより、営業活動の結果使用した資金は13百万円（前年同期は1億62百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出21百万円、資産除去債務の履行による支出20百万円、差入保証金の回収による収入20百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は24百万円（前年同期は6百万円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金の減少11百万円、長期借入金の純減34百万円などにより、財務活動の結果使用した資金は49百万円（前年同期は86百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の連結業績予想につきましては、売上高117億67百万円、営業利益6百万円、経常利益5百万円、当期純損失21百万円を見込んでおります。

なおこの予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日公表分)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額への影響はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当第2四半期連結会計期間より、法人税法の改正に伴い、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度末(平成23年12月31日)および当第2四半期連結累計期間末(平成24年6月30日)において、金融機関からの一部借入契約に規定された財務制限条項の一部である「借入人の中間決算又は年度決算期末における連結の損益計算書に示される経常損益を2期連続して損失とならないようにすること」という条項に抵触しておりますが、貸付人の金融機関より、期限の利益喪失の権利行使をしない旨、同意を得ております。

また、業界の競争激化などの影響を受け、売上高が計画未達成となり、旗艦店でありました「ゼストキャンティナー恵比寿」の閉店もあり、当第2四半期連結累計期間において、営業損失1億8百万円、四半期純損失1億22百万円の計上となりました。以上により当社グループの業績及び資金繰りに影響を及ぼすこととなり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループといたしましては、既存ブランドのブラッシュアップを図るべく新業態「LB6」をオープンし、売上高向上の足がかりとしていく計画であります。また、経営資源の効率的活用を行うため収益改善の見込めない国内2店舗を閉店したとともに、米国の店舗の営業形態の変更等を行いました。これらにより当社グループの収益性の改善を図り、資金繰りへの影響を良化させることを見込んでおります。

当面の資金需要におきましては、当社の代表取締役である長谷川耕造からの借入を予定しております。その他新たな資金調達として、当社グループ所有のロスアンジェルス不動産を売却処分し、調達を行う計画を現在進めております。

従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	428,054	340,441
受取手形及び売掛金	412,265	309,654
原材料及び貯蔵品	215,498	192,854
前払費用	121,410	109,120
その他	13,062	13,326
流動資産合計	1,190,290	965,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,365,551	10,005,434
減価償却累計額	△6,565,622	△6,328,401
減損損失累計額	△1,559,401	△1,555,639
建物及び構築物(純額)	2,240,527	2,121,394
車両運搬具	9,169	9,290
減価償却累計額	△9,071	△9,210
車両運搬具(純額)	98	79
工具、器具及び備品	1,966,343	1,910,985
減価償却累計額	△1,729,684	△1,688,248
減損損失累計額	△87,015	△86,407
工具、器具及び備品(純額)	149,643	136,329
土地	2,804,770	2,822,793
リース資産	31,454	31,454
減価償却累計額	△12,755	△15,802
リース資産(純額)	18,699	15,652
建設仮勘定	777	779
有形固定資産合計	5,214,516	5,097,029
無形固定資産		
ソフトウェア	26,345	20,213
電話加入権	10,575	10,575
その他	1,156	317
無形固定資産合計	38,076	31,106
投資その他の資産		
投資有価証券	6,284	7,265
長期前払費用	23,727	19,356
差入保証金	1,617,110	1,596,748
投資その他の資産合計	1,647,123	1,623,369
固定資産合計	6,899,716	6,751,505
資産合計	8,090,007	7,716,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	510,667	425,974
短期借入金	261,970	250,000
1年内返済予定の長期借入金	518,519	406,919
リース債務	6,398	6,398
未払金	151,293	142,131
未払費用	552,423	501,210
未払法人税等	33,664	24,474
未払消費税等	72,894	43,909
店舗閉鎖損失引当金	9,063	—
資産除去債務	27,682	17,000
その他	101,525	85,842
流動負債合計	2,246,101	1,903,859
固定負債		
社債	690,000	690,000
長期借入金	971,117	1,049,134
リース債務	13,769	10,570
退職給付引当金	21,821	24,413
繰延税金負債	914	1,263
資産除去債務	265,449	255,833
固定負債合計	1,963,071	2,031,216
負債合計	4,209,173	3,935,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,472,118	1,472,118
資本剰余金	2,127,118	2,127,118
利益剰余金	861,525	739,304
自己株式	△9,714	△9,722
株主資本合計	4,451,046	4,328,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,650	2,281
為替換算調整勘定	△576,660	△555,145
その他の包括利益累計額合計	△575,009	△552,863
新株予約権	4,796	5,871
純資産合計	3,880,834	3,781,827
負債純資産合計	8,090,007	7,716,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,540,881	5,833,974
売上原価	5,338,752	5,454,350
売上総利益	202,128	379,623
販売費及び一般管理費	490,626	488,260
営業損失(△)	△288,498	△108,636
営業外収益		
受取利息	6	4
為替差益	—	3,722
その他	25,584	23,044
営業外収益合計	25,591	26,772
営業外費用		
支払利息	24,900	22,113
社債発行費	1,000	—
為替差損	1,822	—
その他	7,268	1,063
営業外費用合計	34,991	23,176
経常損失(△)	△297,898	△105,041
特別利益		
新株予約権戻入益	45,370	—
特別利益合計	45,370	—
特別損失		
固定資産除却損	—	7,860
店舗閉鎖損失	3,091	380
減損損失	656	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	135,014	—
災害による損失	25,368	—
特別損失合計	164,130	8,241
税金等調整前四半期純損失(△)	△416,658	△113,282
法人税、住民税及び事業税	8,878	8,938
法人税等調整額	44,338	—
法人税等合計	53,216	8,938
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△469,875	△122,220
四半期純損失(△)	△469,875	△122,220

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△469,875	△122,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△558	630
為替換算調整勘定	△11,327	21,515
その他の包括利益合計	△11,886	22,146
四半期包括利益	△481,761	△100,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△481,761	△100,074

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△416,658	△113,282
減価償却費	212,904	180,928
固定資産除却損	3,330	8,483
減損損失	656	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,123	2,592
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	3,091	△9,063
受取利息及び受取配当金	△121	△120
支払利息	24,900	22,113
社債発行費	1,000	—
為替差損益(△は益)	1,822	△3,722
新株予約権戻入益	△45,370	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	135,014	—
売上債権の増減額(△は増加)	130,033	103,094
たな卸資産の増減額(△は増加)	53,015	22,951
仕入債務の増減額(△は減少)	△139,501	△85,352
その他	△88,832	△102,313
小計	△127,838	26,309
利息及び配当金の受取額	121	120
利息の支払額	△26,114	△21,488
法人税等の支払額	△8,555	△18,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	△162,386	△13,278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,360	△21,414
資産除去債務の履行による支出	—	△20,682
差入保証金の回収による収入	21,167	20,361
その他	△2,319	△2,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,488	△24,717
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△14,090	△11,970
長期借入れによる収入	390,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△1,148,289	△284,109
社債の発行による収入	689,000	—
リース債務の返済による支出	△2,766	△3,199
配当金の支払額	△53	△10
その他	△4	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,204	△49,296
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36	△320
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△242,140	△87,613
現金及び現金同等物の期首残高	593,545	428,054
現金及び現金同等物の四半期末残高	351,405	340,441

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、レストラン経営を主とする飲食事業という単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。